

製品名: β -1,3-Gal-T2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20339**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	B3GALT2
別名	B3GALT2; Beta-1; 3-galactosyltransferase 2; Beta-1,3-GalTase 2; Beta3Gal-T2; Beta3GalT2; UDP-galactose:2-acetamido-2-deoxy-D-glucose 3beta-galactosyltransferase 2
遺伝子 ID	8707.0
SwissProt ID	O43825
免疫原	抗血清はヒト B3GALT2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 373-422

背景

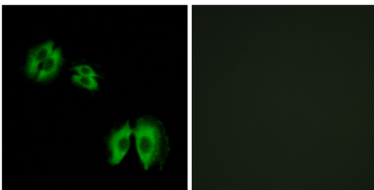
この遺伝子は、 β -1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ (β 3GalT) 遺伝子ファミリーのメンバーです。このファミリーは、異なるド

ナー基質 (UDP-ガラクトースおよび UDP-N-アセチルグルコサミン) と異なるアクセプター糖 (N-アセチルグルコサミン、ガラクトース、N-アセチルガラクトサミン) を用いて多様な酵素機能を発揮する II 型膜結合型糖タンパク質をコードしています。β3GalT 遺伝子はショウジョウバエの Brainiac 遺伝子と遠縁であり、タンパク質コード配列は単一のエクソンに含まれています。β3GalT タンパク質には、β4GalT タンパク質や α3GalT タンパク質には見られない保存配列も含まれています。これらの酵素によって合成される糖鎖はタイプ 1 型と呼ばれ、β4GalT 酵素はタイプ 2 型の糖鎖を合成します。タイプ 1 型とタイプ 2 型の糖鎖の比率は、胚発生中に変化します。配列の類似性により、beta3GalT 遺伝子は少なくとも 2 つのグループ、すなわち beta3GalT4 と他の 4 つの beta3cofactor:Manganese に分類されます。function:β-1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼは、UDP-ガラクトースから末端に beta-N-アセチルグルコサミン (beta-GlcNAc) 残基を持つ基質にガラクトースを転移します。末端にガラクトース残基を持つ基質も利用できますが、効率は低くなります。糖脂質および糖タンパク質の炭水化物部分の生合成に関与しています。末端に alpha-N-アセチルグルコサミン (alpha-GlcNAc) または alpha-N-アセチルガラクトサミン (alpha-GalNAc) 残基を持つ基質に対しては不活性です。online information:Beta-1,3-galactosyltransferase 2,online information:GlycoGene database,pathway:Protein modification;タンパク質の糖化。類似性:グリコシルトランスフェラーゼ 31 ファミリーに属する。組織特異性:心臓と脳で検出される。

研究分野

スフィンゴ糖脂質の生合成;

画像データ



B3GALT2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。